



永福学園通信



令和5年3月24日

R4 第11号

東京都立永福学園
校長 緒方 直彦



1年を振り返って～挑戦すること～



小学部6年生、中学部3年生、高等部3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。4月からは、一つ上の学部や社会での生活が始まります。これまで学んできたこと、身に付けたことを自信にして、新たな目標にチャレンジしてください。皆さんの、今後の成長や活躍を心から願っています。

さて、今年度は、夏にサッカーの世界カップが開催されました。大会では、日本代表の選手達が活躍し、私たちに感動を与えてくれました。日本代表は、この大会にベスト8進出を目標にし、強豪国と言われるドイツやスペインに果敢に挑み勝利しました。残念ながら、クロアチアにPK戦で敗れ、念願のベスト8には残れなかったものの、日本代表は世界中から称賛されました。しかし、選手たちは、そのことに満足せず、新たな目標を一人一人がもって、海外に移籍するなど様々に挑戦し続けています。

ただし、「挑戦すること」は簡単ではありません。しっかりとした目標をもち、自分自身を信じて、十分な準備や練習をした裏付けがあつてこそ、本当の挑戦になり、そうした努力等がなければ単なる無謀な行為又は最初からあきらめることとなります。挑戦する途中では、本当にできるのか不安になったりすることもあるでしょう。それでも、努力し続けることで、本当の力が培われ、高い目標に挑戦することができるようになります。永福学園の児童・生徒の皆さんも、しっかりとした目標をもって、努力し、挑戦することを忘れないでください。挑戦した結果、失敗すること、上手くいかないこともあるでしょう。しかし、努力し続けて、挑戦したことはとても素晴らしいことです。結果だけではなく、その挑戦したことを誇りに思ってください。着任して1年が経とうとしていますが、私自信を振り返ると、「永福学園をもっと良い学校にしよう。」と挑戦し続けた1年間でした。様々な人に支えられ、思いどおりになることもあれば、あまりうまくいかなかったこともあります。しかし、今後も同じ気持ちで、校長として挑戦し続けていきたいと思っています。PTAをはじめ、企業や地域の方々等におかれましては、今後の永福学園の新たな教育における挑戦的な取組に対して御支援を賜りますようお願い申し上げます。本年度最後の挨拶とさせていただきます。

校長 緒方 直

【お知らせ】

本校ホームページの保護者専用ページに「令和4年度第3回『仲間とのかかわり』についてのアンケート結果を受けて」を3月23日（木）に挙げますので、ご覧ください。



One school!! One team!!



副校長発信！ 永福学園のここが一番！！

令和4年度、「One School!! One team!!」として、新生「永福学園」がスタートしました。そのフラッグのもと見られた数々の風景が、私の「永福学園のここが一番！」です。

『両部門の教員間で「就技生徒による肢体児童への読み聞かせ会」を相談する姿』、『4回実施した読み聞かせ&手遊びを通して楽しそうにやりとりする子供たちの姿』、『就技サッカー部の応援横断幕と、肢体スポーツ競技部のハンドサッカー大会の横断幕等のエール交換を交わした生徒たちの姿』、『肢体部門の保護者からの「就業技術科生徒のカフェ利用」再開を望む声(高3限定:2名の参加がありました!)』、『就技と肢体生徒のグループミーティング:永福学園をもっと良くする会では、「図書館にマンガを入れて欲しい!」の肢体生徒の声に、「来年、そのマンガは入るよ!」と就業技術科の生徒が「教えあったりする姿』等、書ききれない程の温かいやりとりの場面が生まれました。

これからも教職員も保護者の方も、何より子供たちが、様々な人との交流・関りを深める場をもっと増やし、温かい声や挨拶がいきかう「永福学園が一番!」であり続けます。

肢体不自由教育部門副校長 秋本友美

新型コロナウイルスの感染もだんだんとおさまってきました。おかげさまで授業の内容も以前のような内容に戻りつつあり、様々な行事も行えるようになってきました。その中でも宿泊行事や、部活動の発表や大会参加など、生徒たちが主体的に取り組めるものが復活してきたことはとても喜ばしいことです。

今年度は多くの制限がある中ではありますが、1年生の移動教室に始まり、2年生、3年生の修学旅行を実施することができました。私は1年生の移動教室と3年生の移動教室と一緒に参加しましたが、生徒たちが自分たちでしっかりと計画を進めていく姿を見て、とても嬉しく思いました。3年生には班行動などで自分たちで考え、行動する姿や、係の仕事を着実に進めていく姿に頼もしささえ感じました。今の1年生、2年生もきっと彼らのように立派に成長してくれるでしょう。

部活動においても舞台発表でのびのびと自分を表現する姿や、大会において自分の実力を出し切って競技する姿はとても素晴らしいです。これからも様々な場面において自分なりに頑張っていてほしいです。やはり、永福学園の一番は一人一人の生徒たちです。

就業技術科副校長 山崎裕之

都立永福学園の一番は、就業技術科の生徒、肢体不自由教育部門の児童・生徒、都立大塚ろう学校永福分教室の幼児・児童がお互いに思いやる気持ちがあることです。そのようなことを感じさせる場面に幾度となく出会いました。

緒方校長、山崎副校長とともに毎朝昇降口付近に立って幼児・児童・生徒の登下校を見守っています。その中でも、歩道の部分を通るのに幼児・児童・生徒がお互いに「お先にどうぞ」と譲り合うような場面、就業技術科の生徒が永福分教室の幼児・児童と手話で挨拶し合っている場面を何度も見られるようになりました。

肢体不自由教育部門の児童が、放課後デイサービスの車両に乗り込むために南側の昇降口をしばしば使用することがあります。その時に、永福分教室の児童の作品を見て、介助する教員や学校介護職員とやり取りをしている場面も見られました。

「One School!! One Team!!」のフレーズの元に取り組んでいる様々な活動が、日常生活の様々な場面でも幼児・児童・生徒の行動に少しずつ、よい影響を与えています。今後各部門がそれぞれ連携して教育活動を進めていきます。

肢体不自由教育部門副校長 小松弘喜

東京都立永福学園

○肢体不自由教育部門

副校長 秋本 友美 小松 弘喜
主幹教諭 池田 佳信

○就業技術科

副校長 山崎 裕之
主幹教諭 土田 律子



〒168-0064

東京都杉並区永福1丁目7番28号

電話 03-3323-1380

ファクシミリ 03-3323-1381

ホームページ

<http://www.eifuku-sh.metro.tokyo.jp/>